

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社やまみ 本社工場

(2) 事業所の所在地

広島県三原市沼田西町小原字袖掛73-5

(3) 業種

豆腐・油揚製造業

(4) 事業所位置図
別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成29（2017）年度を基準年度とし、平成30（2018）年度から平成35（2023）年度までの6年間とする。

3 計画の基本的な方向

1. 基本的な考え方

当社は、環境の保全を経営の重要課題と位置付け、環境に配慮した事業活動に努め、環境への負荷の低減を推進することにより、持続可能な社会づくりに貢献します。
地球温暖化防止のため、エネルギー使用量の削減を通じて、温室効果ガスの排出を抑制し、そのための投資も積極的に行います。

2. 方針

- 廃棄物の排出抑制・リサイクルの推進
- 老朽機械等を省エネ機械等へ更新
- 排水処理設備、製造設備等の予防保全の推進
- 社員への環境教育の徹底
- 老朽バイオマス設備の段階的な稼働の縮小

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成29年度	平成 年度
二酸化炭素	25,236	

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成 年度	平成 年度
二酸化炭素		

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成29年度	平成 年度
メタン	734,456	
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF6 NF3)	HFC : 763.95	

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)		削減目標		目標年度 (平成 年度)	
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)		
エネルギー起源CO ₂					0	
非エネルギー起源CO ₂					0	
メタン					0	
一酸化二窒素					0	
その他 温室効果ガス					0	
温室効果ガス 実排出量総計					0	
温室効果ガス みなし排出量		-			0	
目標設定の考え方						

※ 削減率(b) = (c)/(a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

大豆投入量(t)

単位：排出量(t-CO₂)，原単位量(kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 2 9 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (平成 3 5 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂	25,236	14,086	1.79	5.0	24,000	14,086	1.70
非エネルギー起源CO ₂				#VALUE!			
メタン	734,456	14,086	52.141	5.0	698,000	14,086	49.553
一酸化二窒素				#VALUE!			
その他 温室効果ガス	763.95	14,086	0.05	0.0	725	14,086	0.05
総排出量	760,456	14,086	53.99	5.0	722,725	14,086	51.31
エネルギー消費原単位 (原油換算 k l)	-	-		0.0	-	-	
目標設定の考え方	エネルギー消費原単位として原単位ベース年 1 % の削減率。						

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	13Aガスのエネルギー原単位を年1%以上削減	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気配管の保温の推進 ・ボイラーのこまめな運転停止 ・蒸気漏れの即時修繕
2	電気使用量の削減	電気のエネルギー原単位を年1%以上削減	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽機械等を省エネ機械等へ更新 ・事務所等の空調の稼働抑制 ・生産機械等のこまめな運転停止
3	メタン排出量の削減	(可能な限り段階的な稼働縮小)	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽バイオマス設備の段階的な稼働縮小
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1		
2		
3		

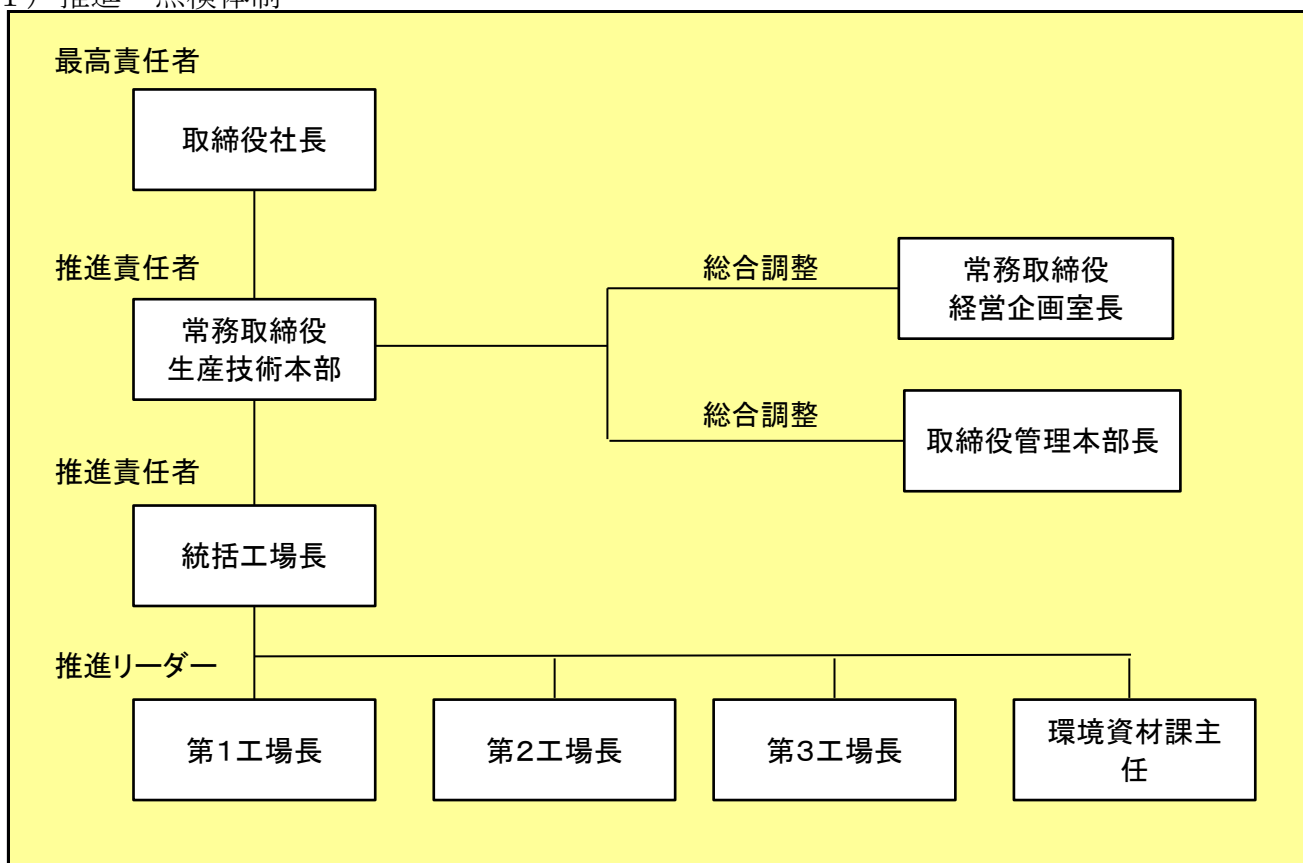
○ その他の取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

常務取締役 生産技術本部長を中心として、毎年温室効果ガス削減計画の取組状況の把握・点検及び問題点検討を行い、環境対策会議において定期的に評価・見直し等を行い、継続的な向上を図る。

また、毎年度の取組状況、点検・評価内容等については、計画書とともに公表する。

(3) 計画書等の公表

当社のホームページで公表する。